

## 令和3年度 第2回 海老名市立大谷中学校 学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和3年度12月14日(火) 15:00～16:10
- 2 場所 海老名市立大谷中学校 校長室
- 3 出席委員 熊澤美恵子委員長、菌口美佐子委員、遠藤俊枝委員、岩崎佐容子委員  
吉田存委員、吉田守委員、長久栄子委員、村松かおり委員、竹島和也委員

### 4 内容

#### (1) 校内の見学

学校長挨拶の後、校内を案内し、清掃～帰りの会の様子を参観

(1年、2年、3年はるかぜ級の順で)

#### 【各委員からの感想】

- ・気持ちのいい元気な挨拶がとても良かった。
- ・生徒会役員選挙の候補者のクラス回りでは双方の笑顔が印象的。
- ・人の話をよく聞けるのが印象的であった。
- ・挨拶がとても良い。小学校とは違った雰囲気を感じた。
- ・校内が綺麗だと感じた。清掃をしっかりしていると感じた。
- ・素の状態での生徒の様子を見られて良かった。
- ・生徒会役員選挙に向けての取り組みがとても、しっかりしていたと思う。

#### (2) 2学期の報告

##### ア 体育祭 (R3.10.20) について

校長：2学期始めは感染症拡大に伴い厳しい時期が続き、見通しをもつのが大変だった。体育祭は今年度初めて全校生徒揃っての活動で、先輩・後輩のつながりを感じる取り組みであったため、本当に開催できてよかった。

教頭：競技を縮小して半日日程で実施している。(生徒会種目であるパイプラインの紹介や応援合戦を実施できたことを説明) 悪天候のため、1日延期した。閉会式での生徒の話が、実感がこもっていてとてもよかった。

##### イ 修学旅行 (R3.10.23～25) について

教頭：修学旅行は当初5月に予定していたが、感染拡大に伴い9月に延期。緊急事態宣言の延長を想定して再延期し、体育祭直後に実施した。体力的な心配もあったが、無事実施できた。

校長：宿を変えずに実施できたことから、計画内容の大きな変更は生まれなかった。生徒は、行けて良かったと率直に感じている。例年民泊を行ってきたが、感染症対策として昨年度からホテル泊。バス移動を主とした。



2日目の奈良県明日香村での班別活動では、借りあげたバスをシャトルバスとして運行してもらい、徒歩移動と組み合わせた。帰路は海老名サービスエリアで解散する形をとった。

#### ウ 2年校外学習 (R3.10.26) について

校長：3年の修学旅行の振替休日に合わせて実施。当初計画では鎌倉校外学習の予定だったが、公共交通機関の利用が難しいため、早い段階で海老名市内巡りの形に変更した。

教頭：キャリア学習としてキッザニアも考えたが、感染拡大で中止せざるを得ない場合の保護者負担等を考えて見送った。修学旅行は市の補助金があるが、他の行事はないため、費用面を考えて行事を決めるケースもある。

校長：各学年の行事は3年修学旅行に向かって2年、1年とつながりを考え段階的に計画している。トラブルもなく無事実施できた。

#### エ 1年稲作・稲刈り (R3.10.27) について

校長：取り組みの規模は縮小して、中部営農組合に協力していただきながらできることをやっていこうという考えの中で実施した。

教頭：(うるち米、もち米など育てた米の説明) 中部営農組合の大塚さんが中心となって関わってくださり、取り組むことができている。

校長：生徒の関わりは例年より薄くなっているが、体験に関しては、とても貴重なものだったことが生徒の振り返りからも窺える。

教頭：昨年度できなかった田植えを今年はできたので良かった。近隣で稲作を行っている学校はない。今後どのように取り組んでいくかは課題もある。

委員：自分で育てることで、作っている人の気持ちや、食べ物を大事にしたい気持ちを育てるものとなる。

校長：総合的な学習の時間として、何にどれくらいの時間を当てていくのかも考えなければならない。クロムブック等の新たな導入で、全体計画を見直していく時期でもある。

委員：他校では、遠出をして米作りなどの体験を行っているところもある。できることなら稲作体験は残してもらいたい。クロムブックも大事だが、今しかできない体験と考えると稲作体験はとても大きいものだと思う。記憶にも残るものであると感じる。協力し続けてくれる人がいるならば、是非続けられる限り行ってほしい。対面でできる経験はとても大切だと感じている。

校長：生徒が学校に来ないと実施できない内容であるので、稲作のような体験活動も大事にしたいと考えている。今週末の立ち会い演説会は体育館に全校生徒を集めることができないので、リモートで実施するが、対面だからこそ効果をあげるものもある。収穫祭については「飲食」という要素があるのでなかなか難しいが、今日いただいた意見を参考にしたい。

委員：地域の方も、学校に協力したいと考えている。海老名市の団体に協力してもらえば、今後もいい形で続けていってほしい。

#### オ 感染防止対策について

校長：感染レベル1になり、理科の実験や以前より長めのグループワーク等授業でできる活動が増えてきている。3年生は進路の動きなどもあるので、基本的な感染症対策は継続していきたい。

教頭：中体連の大会も実施できるようになってきている。

校長：自分達は大会に出場して部活動に区切りをつけられたので、後輩達もそうあってほしいと3年生が言っていた。生徒にとって、努力してきたことが認められる場があることが大切であると改めて感じた。

#### (3) その他

- ・海老名市コミュニテースクールの連絡会（R4.2.19）についての案内（熊澤委員長が参加を承諾してくださった）
- ・学校運営協議会の任期は2年。R4年3月末で現委員は任期終了となるが、できれば継続して令和4・5年度も依頼したい旨説明

## 5 連絡

### 第3回学校運営協議会

日時：令和4年3月22日（火）15:00～ 於：校長室

内容：令和3年度学校評価について  
令和4年度学校経営方針について